

# Press Release

2004年11月17日

大日本インキ化学工業株式会社

## 中国・南通におけるオフセットインキプラントの完成について

大日本インキ化学工業株式会社（本社：東京都中央区、社長：小江紘司）は、中国・江蘇省南通市にある100%子会社、南通迪愛生色料有限公司（Nantong DIC Color Co., Ltd.）において、第二期工事が完工したことから、本日、同地において竣工式を行います。第二期では、印刷インキ用ワニスおよびオフセットインキのプラントを新設するとともに、有機顔料およびインキ中間体については生産能力の増強を図っています。

印刷インキの需要は、中国をはじめとするアジア市場で、輸出製品向けに加え、現地の生活水準の上昇に伴い、印刷物のカラー化が急速に進行しており、高品質なオフセットインキに対するニーズが高まっています。

このたびの新增設は、中国における高品質の印刷インキへの旺盛な需要に対応するとともに、アジア地域への製品供給を担うために行ったものです。オフセットインキの生産能力は年産11,000トンで、ワニスの新設分および有機顔料・インキ中間体の増設分は自家消費に充当します。これにより南通迪愛生色料は、印刷インキの主原料である有機顔料・ワニスから、最終製品である印刷インキまでを一貫生産する体制を確立したこととなります。さらに、今後は得意とする色彩化学に関する総合力を活かし、国際競争力のある戦略的な製品を中国・アジア市場に供給していく方針です。

当社はかねてより、アジア地域の印刷材料事業の売上高を2010年に1,000億円規模まで拡大する「アジア1,000億円計画」を立案し、この実現に向け様々な施策を実施してきました。このたびの南通拠点の新增設もその一翼を担うもので、今後はさらなる需要の伸びが見込まれることから、計画の達成に向けて2010年に年産20,000トンの生産体制を構築することとしています。

以上

ワニス：油脂類、合成樹脂、天然樹脂およびこれらを溶剤に溶かした印刷インキの主要原料の一つで、顔料を分散し、紙などの被印刷物に転移・固着させる働きをするもの。

本件に関するお問い合わせ 広報・IR部 TEL 03-5203-7838